

社会基盤委員会



平成27年9月25日（金）広島市において、古瀬委員長をはじめ33名の委員の出席のもと社会基盤委員会を開催した。

当日は、議事に先立ち、国土交通省 中国地方整備局 道路部長 佐々木政彦氏から「道路に関する最近の動向について」と題し、ご講演をいただいた。

引き続き議事に移り、平成27年度上半期の委員会活動状況報告及び平成27年度交通基盤の整備促進に向けた要望活動についての審議を行った。

1. 講演

○演題 『道路に関する最近の動向について』

○講師 国土交通省 中国地方整備局
道路部長 佐々木 政彦 氏

○概要

国土交通省中国地方整備局は平成28年度の道路関係の基本的な取り組み方針として、「東日本大震災からの復興加速」「国民の安全・安心の確保」「豊かで利便性の高い地域社会の実現」及び「日本経済の再生」の4分野への重点化を図っていく。

各施策を進めるにあたっては、①道路の機能を最大限発揮するため「賢く使う」取り組み、②生産性の向上や安全・安心を含めた生活の質の向上等「ストック効果の重視」の観点に留意するとともに、平成28年度概算要求にあたっては「新しい日本のための優先課題推進枠」を活用し、「道路の老朽化対策」「道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保」「効率的な物流ネットワークの強化」を推進していく。



済への波及効果・影響調査

平成27年3月の全線開通直後3か月（4～6月）の効果・影響について、沿線の観光施設・道の駅を対象にアンケート調査を実施。

- ・沿線地域には、2年前の松江道開通時に続く第2段の好影響が発現。前回島根北部に集中した好影響は、今回は他地域へも広範に拡大。
- ・陰陽間の交流が双方向になったことに加え、しまなみ海道・山陽道との接続により四国・山陽道沿線に集客範囲が拡大。
- ・沿線の道の駅では、「食」による特徴付けが進展。観光業との連携強化を志向しており、地域のゲートウェイとしての役割強化を期待。

(2) 審議事項

「平成27年度 中国地方の交通基盤の整備促進に向けた要望活動について」に関する審議を行い、以下の内容で承認された。

a. 要望活動の概要

実施予定日：平成27年11月4日（水）

内容：地元選出国会議員との懇談会や、政府・与党、関係閣僚等への要望活動を予定。

b. 要望事項

- ・山陰自動車道の早期整備（ミッシングリンクの早期解消）による中国地方の一体的な発展に資する高規格幹線道路ネットワークの実現
- ・下関北九州道路等の地域高規格道路の早期整備による地域活性化の促進及びリダンダンシーの確保
- ・トンネル・橋梁等の長寿命化・老朽化・耐震対策、法面崩落防止等の防災対策の計画的実施による安全で安心な災害に強い道路の整備
- ・以上の実現に向け、必要な道路の整備、維持管理等に関する確実な財源の確保（担当：水本）

2. 議事

(1) 報告事項

事務局より、平成27年度上半期の委員会活動状況について報告を行った。

a. 関係機関との連携活動

中国地方における道路、港湾等の社会基盤整備促進のため、以下の活動に参画した。

- 中国地方国際物流戦略チーム
- 下関北九州道路建設促進協議会
- 中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会
- 環瀬戸内海地域交流促進協議会 等

b. 調査研究

- 中国やまなみ街道の全線開通による地域経